



事業番号	08 01 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	観光戦略推進事業		部局	観光部	課・室	山岳高原観光課
			実施期間	S24～	E-mail	mt-tourism@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	観光消費額					
総合的に展開する重点政策	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり					

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】	<ul style="list-style-type: none"> 全県的な観光振興コンセプトがなく、豊富な観光資源や多様な関係者の取組みが効果的にPRされておらず、県観光地が持つポテンシャルが発揮されていない。 マーケティングに基づいた観光振興の取組みや地域マネジメントが不十分である。
	【目指す姿】	<ul style="list-style-type: none"> 各地域や観光関係者が共有する長野県の独自の価値を前面に押し出し、強みを活かした観光戦略を持続的に展開する推進体制を構築し、世界中から認知され続ける。
	【実施内容】	<ul style="list-style-type: none"> 観光地利用者統計調査 スキー、スケート場利用者統計調査 学習旅行実態調査 外国人延宿泊者数調査

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						事業 コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値		達成状況	前年度繰越	0	0
1	観光消費額(暦年)	7,093億円	8,146億円↗	8,769億円↗	7,618億円		達成	現計予算	125,827	165,685
2	延べ宿泊者数(暦年)	1,799万人	1,833万人↗	1,805万人↘	2,075万人		未達成	合計(A)	125,827	165,685
3								うち一般財源	100,555	101,549
4								決算額(B)	125,827	124,529
							職員数(人)	5.8	5.8	

成果指標 設定理由	<p>①観光業の「稼ぐ力」を示す観光消費額の増加を成果目標に設定</p> <p>②滞在型周遊観光の指標となる延宿泊者数を成果目標に設定</p>
達成状況 の分析	<p>①特に県外旅行者及び外国人旅行者の消費単価が増加したことにより、目標を達成することができた。</p> <p>②東日本台風のほか、近年顕著な夏期の豪雨・酷暑、冬期の雪不足等の影響により、目標を達成できなかった。</p>

主な取組	<p>◇県下初となる「重点支援広域型DMO」を指定</p> <ul style="list-style-type: none"> 県が重点的に支援する広域型DMO※として、「HAKUBAVALLEY TOURISM」を指定(R1.6.20) ※DMO:地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れ観光地域づくりを行う舵取り役となる「観光地域づくり法人」 	 <p>山ノ内町設置の案内サイン</p>
	<p>◇外国人にもわかりやすい案内サインの整備支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光に係るインバウンド需要の高まりを受け、本県を訪れる外国人が視認しやすいデジタルサイネージや、英語併記の案内看板等の整備を支援 案内サイン整備に係るポイントをまとめた事例集を作成 	 <p>案内標識 事例集 外国人旅行者にも分かりやすい整備のポイント</p> <p>令和2年3月 長野県観光部 SCOOP</p> <p>整備のポイントを整理した事例集</p>

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> 来訪の必然性の高いコンテンツの開発等による「稼ぐ」観光地域づくりが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> H30.3に策定された「信州の観光新時代を拓く 長野県観光戦略 2018」に基づき、①広域型DMOの形成支援や観光人材の育成・確保、②ハード・ソフト両面からの観光の基盤づくり、③戦略的なインバウンド施策に取り組み、「稼ぐ」観光地域づくりを進める。

事業番号	08 01 01	細事業一覧（令和元年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	観光戦略推進事業		部局	観光部	課・室	山岳高原観光課

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
1	DMO構築事業費		54,670 千円	52,842 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	広域型DMOの形成・確立	負担金	県観光機構「DMO形成支援センター」に専門人材を配置し、県内各地域で広域型DMOの形成・確立に向けた支援を実施するとともに、県下初の「重点支援広域型DMO」に「HAKUBAVALLEY TOURISM」を指定し、ソフト・ハード両面からの支援を実施。	
2	マーケティング調査・分析	負担金	県観光機構及び地域の戦略策定等に活かすため、来訪者満足度等アンケート調査・デジタルマーケティング調査の実施。	
3	DMO人材育成	負担金	観光地経営を担う人材を養成するため、観光地経営セミナー（ベーシッククラス2回、エキスパートクラス2回）を実施。	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
2	外国人にもわかりやすい案内標識整備促進事業費		2,974 千円	5,544 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	案内標識整備補助	負担金	大町市内4か所に交通や観光等の情報提供のためのデジタルサイネージを設置。また、山ノ内町内で英語を併記した地獄谷野猿公苑までの歩行ルート案内サイン及びバス停を整備。	
2	事例集の作成	委託	はじめて日本を訪れた外国人旅行者にもわかりやすい案内サインの整備のポイント等をまとめた事例集を作成。	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
3	観光情報発信事業費		59,711 千円	58,105 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	県外観光情報センター観光宣伝業務負担金	負担金	名古屋、大阪観光情報センターにおける各種メディアを活用した情報発信、観光情報の収集、情報提供等の実施を支援。	
2	県観光機構負担金	負担金	(一社)県観光機構の運営を支援。	
3	県公式観光サイト管理運営業務負担金	負担金	県公式観光情報サイトの管理・運営を支援。	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
4	観光振興指導調査費		7,793 千円	7,449 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	長野県観光振興審議会等の開催・運営経費	直接	長野県観光振興審議会（1回）及び長野県観光戦略推進本部を開催（2回）。	
2	統計調査の実施経費	直接	観光地利用者統計調査・スキー、スケート場利用者統計調査・学習旅行実態調査、外国人延宿泊者数調査を実施。	
3	観光地点パラメータ調査	委託	観光庁「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく観光地点パラメータ調査を実施。	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
5	観光客安全対策推進事業費		679 千円	589 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	地区観光客安全対策組織への交付金	負担金	県内観光地で実施する安全パトロールを支援。	